

「明石を詠む俳句会 入選作品」

明石俳句会最優秀賞

それぞれの画布に城あり秋高し

高橋 宣子

明石俳句会優秀賞

銀河より漁火一つつつ帰る

藤堂 くにを

子午線の太陽浴びし青写真

奥田 好子

大橋を潜り返して月の航

和沢 靖子

子午線はどこにも見えず秋の空

田附 光映

この町の人となりきり秋祭

薄木 和子

明石市商店街連合会会長賞

魚ん棚の一等席の桜鯛

池田 雅一

佳作

青さんま光集めて糶られけり

横山 千代見

大橋を渡る高さにありし秋

永井 二紗子

耀へる明石の門浪鳥渡る

島崎 すずらん

降り立てば足先もはや秋の風

松下 美年子

ふと視線沖へと移す秋思かな

澤田 鈴子

船を待つ肩をかすめる一葉かな

河内 きよし

国生みの島を足場に根釣人

粕田 あやの

太刀魚の太刀選り分けて糶を待つ

中谷 明子

明石俳句会実行委員会

（一社）明石観光協会